

富山県における糖尿病対策の 主な取組みについて

富山県透析患者等発生予防推進事業連絡協議会等 による体制整備

富山県透析患者等発生予防推進事業連絡協議会の開催

委員：糖尿病専門医、腎臓専門医、かかりつけ医、県医師会、行政関係者等

開催回数：年 1 回程度

協議内容：富山県における糖尿病対策
医療連携体制及び保健・医療の連携体制に関すること
腎症による透析患者等の発生予防に関すること

富山県透析患者等発生予防推進事業ワーキンググループの開催

委員：糖尿病専門医、腎臓専門医、かかりつけ医、県医師会、行政関係者等

開催回数：年 1 ～ 2 回程度

協議内容：医療連携体制及び保健・医療の連携体制に関すること
(かかりつけ医啓発リーフレットの作成、
糖尿病性腎症重症化予防プログラムに関する内容等)

糖尿病性腎症重症化予防モデル事業（R6年度）

【目的】

糖尿病性腎症患者の重症化予防のため、病院と地域の保健師、栄養士、薬剤師等の多職種連携による生活習慣改善、服薬・栄養指導等の患者支援をモデル的に実施し、患者の重症化予防と人工透析導入の回避、医療費の抑制につなげるとともに支援効果等を検証し、病院と地域の患者支援モデルの構築を図る。

【事業内容】

（１）個別支援（６例）

厚生連高岡病院に通院中の糖尿病性腎症患者で、医師が必要とみとめる患者について、病院と地域の多職種連携による個別支援の実施

（２）研修会、ケース検討会

糖尿病性腎症患者は合併症があることや他疾患の治療中であることが多く、重症化リスクも高いことから、効果的な支援の実施に向けた研修会やケース検討会を開催

（３）支援者への聞き取り調査

事業の効果検証及び横展開に向けた支援者への聞き取り調査の実施

【結果と効果】

＜結果＞

どのケースにも行動改善がみられ、訪問介入以降にHbA1c、eGFR、推定塩分摂取量の改善が見られた。

＜効果＞

- ・ 訪問介入で生活状況の把握ができる。
- ・ 本人の行動や意識の変化、評価指標の改善がみられる。
- ・ 支援者の連携強化、資質向上

糖尿病重症化予防かかりつけ医研修会の開催 (県医師会委託)

日時：令和7年10月25日（土）18時00分～19時30分

会場：富山県医師会館 1階ホール （富山市黒崎33番地）

※会場と Web 同時配信のハイブリッド形式

内容

説明：富山県における糖尿病重症化予防の取組みについて
富山県厚生部健康対策室健康課

講演 講演① 「SGLT2阻害薬の適応と適正使用について」
講師 富山県立中央病院 内分泌・代謝内科部長
吉澤 都 先生

講演② 「GLP-1受容体作動薬の効果を最大化しリスクを最小化する」
講師 厚生連高岡病院 糖尿病・内分泌代謝内科診療部長
島 孝佑 先生

糖尿病重症化予防セミナーの開催

【令和7年度】

テーマ：「糖尿病性腎症重症化予防につなげる健診結果の読み取りとアセスメント」

日時：令和7年12月10日（水）13時30分～16時15分

内容：①富山県における糖尿病の現状・課題

富山県厚生部健康対策室健康課

②糖尿病性腎症重症化予防事業実施におけるKDBデータ等の活用

富山県国民健康保険団体連合会

③講義「糖尿病性腎症重症化予防のために着目すべきリスク因子と必要な支援について」

講師 富山県立中央病院 内分泌・代謝内科部長 吉澤 都 先生

富山県立中央病院 腎臓・高血圧内科医 山口 かおり先生

④事例検討「糖尿病患者の健診結果の読み取りから必要な支援を考えてみよう！」

事例提供者：市町村国保

助言・総括：富山県立中央病院 内分泌・代謝内科部長 吉澤 都 先生

富山県立中央病院 腎臓・高血圧内科医 山口 かおり 先生

糖尿病関連の調査等

透析導入患者に関する実態調査

本県における透析導入患者の傾向を把握し、糖尿病対策の検討を行う。

- 【対象】 人工透析を実施する医療機関39か所（日本透析医学会統計調査協力医療機関）
【結果】 集計中

糖尿病医療資源調査

糖尿病の専門診療を行う医療機関等の情報を集約し、公開する。

- 【対象】 糖尿病専門医が在籍する医療機関、
富山県医療計画で糖尿病の専門治療及び急性増悪時治療を担う医療機関
計61医療機関
- 【内容】 ・合併症予防に対応する医療体制に関すること
・診療に関すること ・連携ツールに関すること 等
- 【結果】 県ホームページで公開中



富山県
ホームページ

市町村の糖尿病対策事業実施状況調査

保健分野での取り組み状況や医療と保健の連携状況を把握し、糖尿病対策の検討を行う。

- 【対象】 県内市町村
- 【内容】 ・市町村における糖尿病対策
・市町村における糖尿病性腎症重症化予防プログラムに関する実施状況
・糖尿病重症化予防連携体制の運用状況

普及啓発

糖尿病重症化予防・腎臓病の正しい知識の普及啓発を図る

World Diabetes Day (WDD) 及び全国糖尿病週間における
県有施設のライトアップ（県医師会 富山県糖尿病対策推進会議と協働）

実施期間：World Diabetes Day (WDD)（11月14日）を
含む1週間（令和7年11月10日～令和7年11月16日）

場 所：インテックタワー111、富山県美術館等



世界腎臓デー（World Kidney Day）における県有施設のライトアップ

実施期間：世界腎臓デーを含む1週間
（令和7年3月13日～令和7年3月19日）

場 所：富山県立中央病院



糖尿病・慢性腎臓病に関する講演会の開催（NPO法人富山県腎友会へ委託）

【令和7年度】

日 時：令和7年10月26日（日）14：30～16：30

テーマ：「後悔のない健康生活を
～知って得する糖尿病の重症化予防～」

講演：Ⅰ「ポスト2025の糖尿病重症化予防」
Ⅱ「簡単エクササイズで介護重症化予防しよう」

講師：厚生連高岡病院 糖尿病・内分泌代謝内科
島 孝佑 先生
厚生連高岡病院 理学療法士 糖尿病療養指導士
林 竜三 先生

日 時：令和8年3月15日（日）10：00～12：00

テーマ：「あなたの腎臓は大丈夫？慢性腎臓病（CKD）を予防しよう」

講 師：富山市民病院 富山市病院事業管理者 石田 陽一 先生

糖尿病講演会
後悔のない健康生活を
～知って得する糖尿病の重症化予防～

糖尿病で通院中の方は富山県内で約6万人といわれており、年々増加しています。さらに、新たに人工透析をうける人の原因疾患の第1位が糖尿病の重症化によるものです。講演会では、糖尿病専門医、理学療法士から糖尿病の基礎知識や重症化予防、運動療法などについてわかりやすく解説していただきます。

2025
10.26 [日]
14:30 — 16:30
【受付開始 14:00】

高岡市ふれあい福祉センター
1階 多目的ホール
高岡市博労本町4-1 ☎0766-21-7888

参加費 無料
事前申込制

14:40-15:40
「ポスト2025の糖尿病重症化予防」
厚生連高岡病院 糖尿病・内分泌代謝内科 診療部長 島 孝佑 先生

15:45-16:15
「簡単エクササイズで介護重症化予防しよう」
厚生連高岡病院 リハビリテーション部 理学療法士 糖尿病療養指導士 林 竜三 先生

16:15-16:25 質疑応答

申込方法
① 二次元コードまたは下記URLのウェブページから申込
[URL] <https://shinsai.pref.toyama.lg.jp/sks/jamimweb/entryform?id=fojbscdz>
② 本チラシ裏面の申込書を記入してFAXで申込

10/22(水) 締切

主催 富山県 NPO法人富山県腎友会
後援 高岡市 富山県医師会 高岡市医師会 富山県看護協会 富山県栄養士会 富山県理学療法士会
問合せ NPO法人富山県腎友会（月～金 10:00～15:00）
TEL 076-407-5085 FAX 076-407-5086 E-MAIL tjk@polka.ocn.ne.jp

各圏域における主な糖尿病対策事業の取組み状況 (令和6年度)

関係者連携調整事業

糖尿病に関する関係機関の連絡会等を開催し、地域の糖尿病ケア体制を整備する

厚生センター	内容（抜粋）
新川厚生センター・ 新川厚生センター 魚津支所	<ul style="list-style-type: none"> ○管内保健福祉事業連絡会 ○糖尿病地域ケア体制検討会 ・ 特定健診・特定保健指導の取組状況 ・ 管内の糖尿病対策の現状と取組み ○糖尿病重症化予防にかかるケース会議 ・ 事例検討（魚津市の困難事例）・病診連携、保健と医療の連携について
中部厚生センター	<ul style="list-style-type: none"> ○管内市町村糖尿病対策担当者連絡会 ・ 糖尿病関連事業の実施状況及び課題の共有 ・ 糖尿病性腎症重症化予防プログラムに関する実施状況及び課題の共有 ・ 医療機関との連携について
高岡厚生センター	<ul style="list-style-type: none"> ○医療・保健関係者との打合せ・連絡会 ○市関係者連絡会 ・ 市の糖尿病対策 ・ 医療計画（糖尿病）について ・ 糖尿病性腎症重症化予防モデル事業について
高岡厚生センター 射水支所	<ul style="list-style-type: none"> ○市関係者連絡会 ・ 市の糖尿病の現状や課題の共有 ・ 他糖尿病事業に係る打合せ
高岡厚生センター 氷見支所	<ul style="list-style-type: none"> ○医療・保健関係者との打合せ・連絡会 ○市関係者連絡会 ・ 糖尿病事業について ・ 糖尿病性腎症重症化予防事業について
砺波厚生センター・ 砺波厚生センター 小矢部支所	<ul style="list-style-type: none"> ○糖尿病対策推進強化事業連絡会議 ・ 管内の糖尿病対策の現状及び富山県医療計画について ・ 糖尿病重症化予防と糖尿病性腎症重症化予防の取組みについて
砺波厚生センター 小矢部支所	<ul style="list-style-type: none"> ○支所管内糖尿病関係者連絡会 ○医療・保健関係者との打合せ ・ 糖尿病の現状と重症化予防の課題 ・ 小矢部市の糖尿病事業について

従事者専門研修等支援事業

糖尿病対策に従事する医療、保健、福祉等の関係者が、糖尿病に関する知識を深め、疾病の段階に応じた対応ができるよう研修会を開催する

厚生センター	内容（抜粋）
新川厚生センター・ 新川厚生センター 魚津支所	○糖尿病療養指導・特定保健指導等従事者研修会 ・事前意識調査「高齢者のインスリン治療に対するコメディカルの想い」 ・講義「コメディカルにもわかる！糖尿病治療アップデート」 ・事例検討「在宅要介護高齢者のインスリン治療を地域でどのように支えるか」 ・事後意識調査
中部厚生センター	○研修会 ・中部厚生センター管内の糖尿病の現状 ・糖尿病性腎症の保健指導～高血圧の管理～
高岡厚生センター	○研修会 ・講義「糖尿病重症化予防で地域を守ろう」 ・事例共有 ○事例検討
高岡厚生センター 射水支所	○市職員への保健指導に関するアンケート調査 ○研修会 ・講義「保健指導における困りごとについて～効果的に介入する方法～」 ○射水市糖尿病Day2024（後援） ・特別後援「糖尿病重症化予防で地域を守ろう！」
高岡厚生センター 氷見支所	○研修会 ・講義「糖尿病治療に係る医療連携について」 ・意見交換
砺波厚生センター・ 砺波厚生センター 小矢部支所	○研修会 ・講義「糖尿病の基礎知識と非常時の対応」 ・事例検討

保健指導強化支援事業

市町村が実施する教室や相談会及び医療機関からの依頼に対する保健指導について助言や事例検討等を行い、保健指導の資質向上を図る

機関名称	内容
新川厚生センター	○専門職における保健指導支援事業 ・糖尿病重症化予防事業について ・対象者事例検討会 等
高岡厚生センター 氷見支所	・青なぎ通信の発行（年3回）

青なぎ通信

2024.9月発行（第28号）
氷見糖尿病対策推進連絡会作成
事務局：高岡厚生センター氷見支所
監修：福田内科医院 福田一仁院長

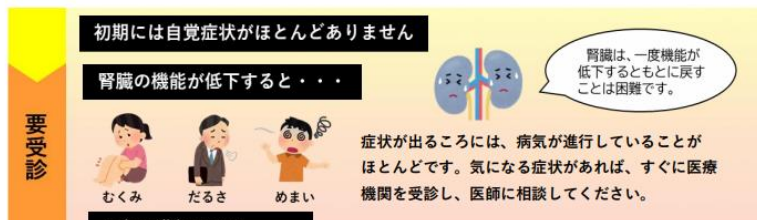
*青なぎとは、世界糖尿病デーのシンボルカラーの「青」と嵐いだ海のように血糖が落ち着くようにという願いが込められています。

糖尿病が原因で血糖値が高い状態が続き、血管が傷つくと深刻な合併症を発症します。

決して放置せず、重症化しないようにしましょう。



●「糖尿病性腎症」は人工透析の原因疾病 第1位



特定健診受診率向上に向けた取組み

OPFSを活用した特定健診受診勧奨モデル事業

受診率向上に向け、民間事業者の創意・工夫を取り入れたより効果的な勧奨手法を探るため、モデル4市町においてPFSを活用したモデル事業を実施

①通知対象者におけるレセプト分析の実施

・過去の健診受診状況やレセプト情報等から、対象者特性に応じた勧奨のパターン分け、優先度付け等のための分析を実施

②受診勧奨通知

○日 時：令和7年7月～10月 計1～2回送付

○内 容：上記分析結果を踏まえ、通知対象者を複数のセグメントに分け、特性に合わせて通知

③若年層、過去未受診者対策

SNS（facebook）を利用し、受診勧奨広告を掲載

○特定健診データを活用したリスク因子状況分析

市町村国保・協会けんぽの健診データからリスク因子を分析し、健康課題を把握

○保健指導の充実及び人材育成

①専門職による保健指導等支援事業

専門職（看護師、管理栄養士）の支援により、市町村で実施する保健指導等の充実に繋げる。

- 支援内容：看護師派遣による特定保健指導利用勧奨
糖尿病認定看護師の派遣による事例検討等での助言指導
管理栄養士による訪問・保健指導等

②保健指導に関する研修会（保健指導スキルアップ研修会）

保健指導の資質向上に向けた研修会を開催

【第1回】

- 日 時：令和7年9月9日（火）
- 出席者：市町村保健指導担当者（保健師・管理栄養士・事務職等）23名
（12市町村参加）
- 内 容：特定保健指導対象者の事例を用いたロールプレイ

【第2回】

- 日 時：令和7年9月25日（木）
- 出席者：市町村保健指導実施者（保健師・管理栄養士・事務職等）19名
（11市町村参加）
- 内 容：特定健診の事例を用いたグループワーク

市町村国保における 糖尿病性腎症重症化予防 プログラムの取組み状況

未受診者への受診勧奨【15市町村実施】

各市町村における抽出基準

抽出基準1		抽出基準2						市町村数	市町村名
HbA1c		eGFR		尿蛋白		血圧	LDL		
6.5 以上	7.0 以上	60未満	1年で eGFR10 以上低下	(+) 以上	(±) 以上	1度 以上	180 以上		
○								3	滑川市、舟橋村、立山町
○		○		○				8	入善町、黒部市、魚津市、 上市町、富山市、高岡市、 氷見市、砺波市
○		○			○			1	朝日町
○		○		○		○	○	1	射水市
○	●	○		○				1	小矢部市
○	●	○	○					1	南砺市

※1 抽出基準1・2の両方を満たす者を対象とする。

※2 ●は抽出基準2に関わらず、抽出基準1のみを満たせば対象者とする。

未受診者への受診勧奨【15市町村実施】

【取組実績】

	実施市町村	対象者数	実施者数（％）	受診者数（％）
R6	15	329	320(97.3)	188(57.1)
R5	15	362	331(91.4)	194(53.6)
R4	15	384	361(94.0)	254(66.1)
R3	15	385	356(92.5)	247(64.2)
R2	15	454	448(98.7)	304(67.0)
R1	15	553	537(97.1)	380(68.7)

○受診勧奨対象者の約9割に受診勧奨を実施、約5～6割が受診につながっている。

治療中断者への受診勧奨【15市町村実施】

各市町村における抽出基準

抽出基準1		抽出基準2		抽出基準3		市町村数	市町村名
糖尿病治療歴		HbA1c		eGFR	尿蛋白		
3～6か月 受診なし	その他	6.5 以上	7.0 以上	60未満	(+)以上		
○						7	朝日町、入善町、黒部市、上市町、舟橋村、富山市、小矢部市
○		○				2	滑川市、立山町
○		○		○	○	1	氷見市
○			○			1	砺波市
	個々の通院頻度以上の受診なし					1	射水市
	必要と認めた者					1	魚津市
	昨年度治療があり今年度未治療	○				1	南砺市
	前年度健診未受診					1	高岡市

※抽出基準 1～3 のすべてを満たす者を対象とする。

治療中断者への受診勧奨【15市町村実施】

【取組実績】

	実施市町村	対象者数	実施者数（％）	受診者数（％）
R6	15	81	54(66.6)	19(35.2)
R5	15	51	45(88.2)	17(33.3)
R4	14	64	58(90.6)	17(26.6)
R3	12	74	68(91.8)	26(35.1)
R2	12	205	186(90.7)	47(22.9)
R1	9	99	87(87.9)	25(25.3)

- 受診勧奨対象者の6割以上に受診勧奨を実施するも、受診に繋がるのは約3割。未受診者と比較すると受診につながりにくい。
- 治療中断すると、その後受診勧奨をしても受診につながりにくいことから、未受診を防ぎ、受診を継続するための支援が必要。
- 治療中断者への効果的な受診勧奨方法の検討が必要。

治療中患者への保健指導【15市町村実施】

抽出方法A	糖尿病性腎症 第3期 ・尿蛋白+以上 ・eGFR30~60	特定健診以外 で糖尿病性腎 症2~4期と想 定される者	主治医からの 依頼	市町村 数	市町村名
	○	○	○	4	魚津市、滑川市、立山 町、小矢部市
	○		○	5	上市町、富山市、高岡 市、砺波市、南砺市

抽出方法B	抽出基準1				抽出基準2					市町村 数	市町村名	
	HbA1c				eGFR			尿蛋白				
	6.5	7.0	8.0		30	45	60	－10%以上の 急激な低下	(+)以上	(±)以上		
									○		3	朝日町、入善町、黒部市
										○	1	上市町
									○		2	舟橋村、砺波市
									○		2	富山市、高岡市
									○		1	射水市
									○		1	氷見市
								○	○		1	南砺市
										2	南砺市、小矢部市	

※異なる2通りの抽出方法（A、B）のいずれかを満たす者を対象とする。

治療中患者への保健指導【15市町村実施】

【取組実績】

	実施市町村	対象者数	実施者数(%)
R6	15	450	180(40.0)
R5	15	444	156(35.1)
R4	15	462	180(40.0)
R3	15	551	150(27.2)
R2	15	645	201(31.2)
R1	14	886	159(17.9)

○治療中患者への保健指導の実施率は、3～4割程度。実施率向上には、主治医と連携した事業の実施が必要。

医療機関との連携による好事例の取組み

～市町村への調査結果から抜粋～

医療機関との連携による好事例

- 医師会との意見交換会(連携会議)を実施したことで、医師と保健師等の連携と同時に医師の保健指導の着眼点強化につながった。
- 治療中断者への受診勧奨後にかかりつけ医に本人の状況を報告したことで、かかりつけ医における治療方針の検討につながった。
- 保健指導中に皮膚観察を行い、感染兆候を主治医へ報告したことで治療につながった。
- かかりつけ医から腎臓専門医に紹介となった際、紹介先の地域連携室と連携して支援し、円滑な受診につながった。
- インスリン注射自己中断歴のある方へ訪問による保健指導を行ったところ、インスリン注射を2日間中断していることが判明。治療継続の必要性を伝え、注射手技を見守ったことで、長期中断を防ぐことができた。

糖尿病性腎症重症化予防事業実施上の課題

～市町村への調査結果から抜粋～

受診勧奨について

- 自覚症状がない場合、行動変容につなぐにくい。
- 他疾患で定期通院していることを理由に、受診を断られる。

保健指導について

- 本人の同意、医師の同意を得ることが難しい。
- 直近の検査値や薬、治療方針の把握が難しい。
- 前年度の情報を元に実施するため、タイムラグがある。

かかりつけ医、専門医との連携

- 医療機関とのタイムリーな情報共有が難しい。
- かかりつけ医や専門医との連携が難しい。
- 郡市医師会との連携

その他

- 保健指導担当者のマンパワー不足、糖尿性腎症に関する知識やスキル不足
- 生活困窮者や精神疾患をもつ方等への対応が難しい。